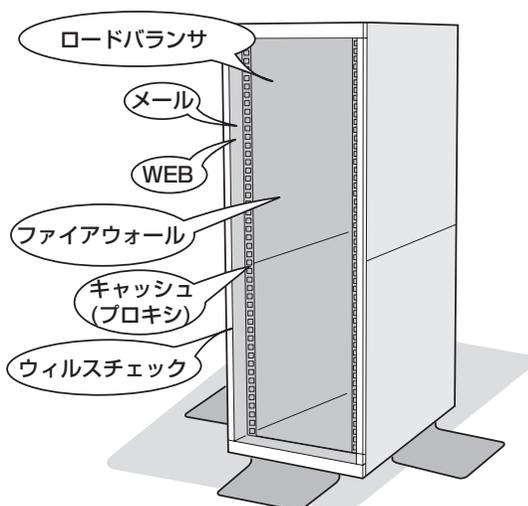
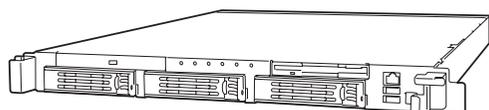
1 InterSecシリーズについて

本製品や添付のソフトウェアの特長や導入の際に知っておいていただきたい事柄について説明します。

InterSecシリーズとは

「オール・イン・ワン」から「ビルドアップ」へ。
高度なセキュリティ管理により、安全かつ高速なインターネットビジネスを可能にするために生まれたのが「InterSecシリーズ」です。
お使いになる環境や用途に応じて必要となる機能を備えた装置を追加することでシステムをビルドアップすることができます。

1台のラックにそれぞれの機能を持つ装置を搭載
(クラスタ構成可能)

InterSecシリーズの主な特長と利点は次のとおりです。

- **省スペース**

  設置スペースを最小限に抑えたコンパクトな筐体を採用。

- **運用性**

  運用を容易にする管理ツール。

- **クイックスタート**

  Webベースの専用設定ツールを標準装備。短時間(約5分)で初期設定を完了します。

- **高い信頼性**

  単体ユニットに閉じた動作環境で単機能を動作させるために、障害発生の影響は個々のユニットに抑えられます。また、絞り込まれた機能のみが動作するため、万一の障害発生時の原因の絞り込みが容易です。

- **高い拡張性**

  専用機として、機能ごとに単体ユニットで動作させているために用途に応じた機能拡張が容易に可能です。また、複数ユニットでクラスタ構成にすることによりシステムを拡張していくことができます。

- **コストパフォーマンスの向上**

  運用目的への最適なチューニングが行えるため、単機能の動作において高い性能を確保できます。また、単機能動作に必要な環境のみ提供できるため、余剰スペックがなく低コスト化が実現されます。

- **管理の容易性**

  環境設定や運用時における管理情報など、単機能が動作するために必要な設定のみです。そのため、導入・運用管理が容易に行えます。

InterSecシリーズには、目的や用途に応じて次のモデルが用意されています。

- **CSシリーズ(プロキシ)**

  Webアクセス要求におけるプロキシでのヒット率の向上(Forward Proxy)、Webサーバの負荷軽減・コンテンツ保護(Reverse Proxy)を目的とした装置です。

- **MWシリーズ(メール/WEB)**

  WebやFTPのサービスやインターネットを利用した電子メールの送受信や制御などインターネットで必要となるサービスを提供する装置です。

- **FWシリーズ(ファイアウォール)**

  インターネットと接続した企業ネットワークを外部からの不正なアクセスから守るファイアウォール専用機です。

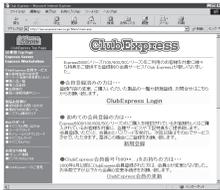
- **LBシリーズ(ロードバランサ)**

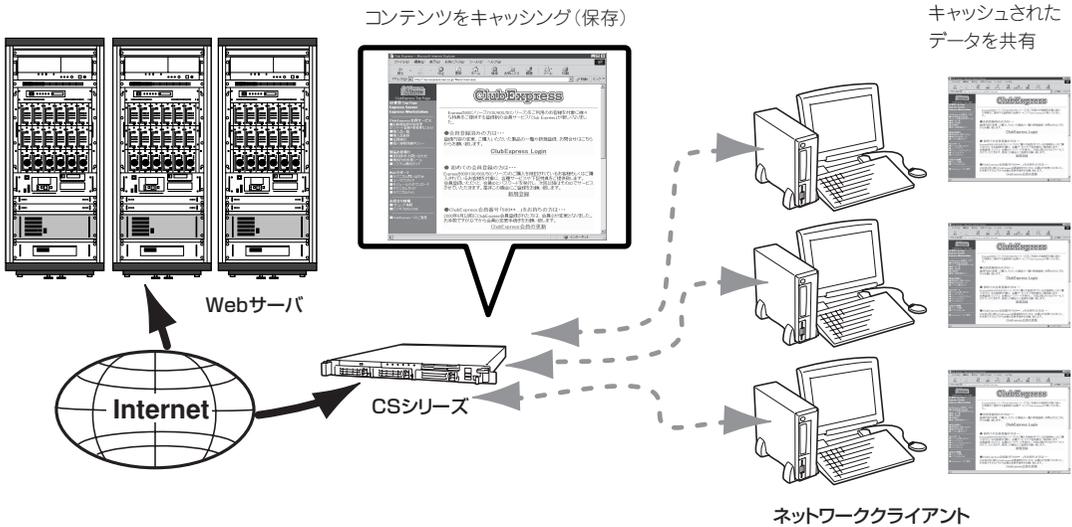
  複数台のWebサーバへのトラフィック(要求)を整理し、負荷分散によるレスポンスの向上を目的とした装置です。

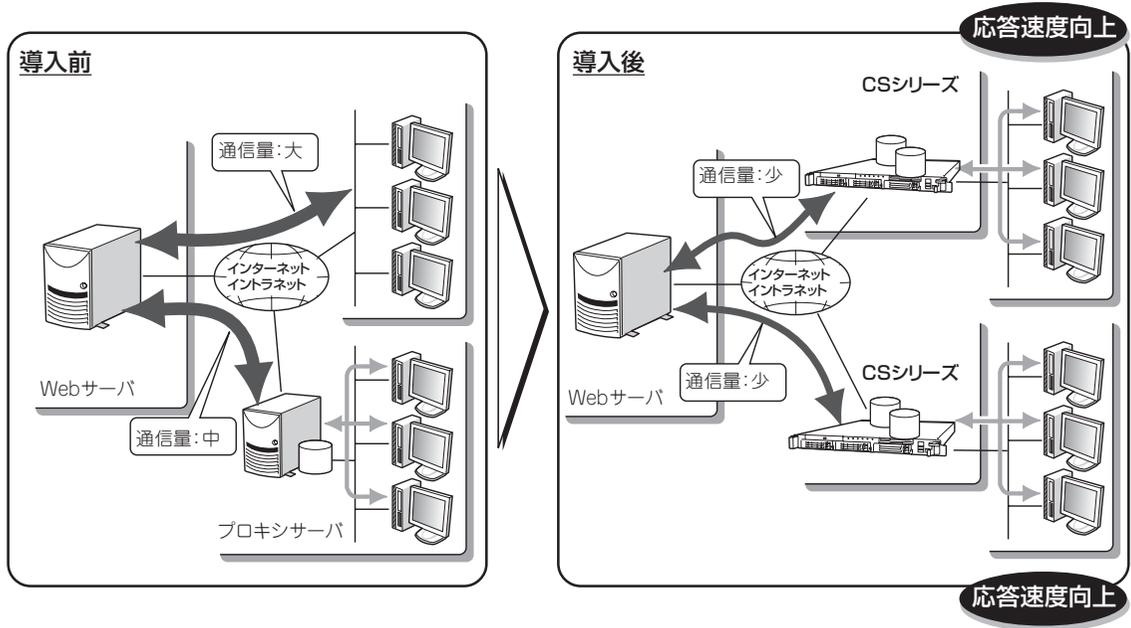
- **VCシリーズ(ウィルスチェック)**

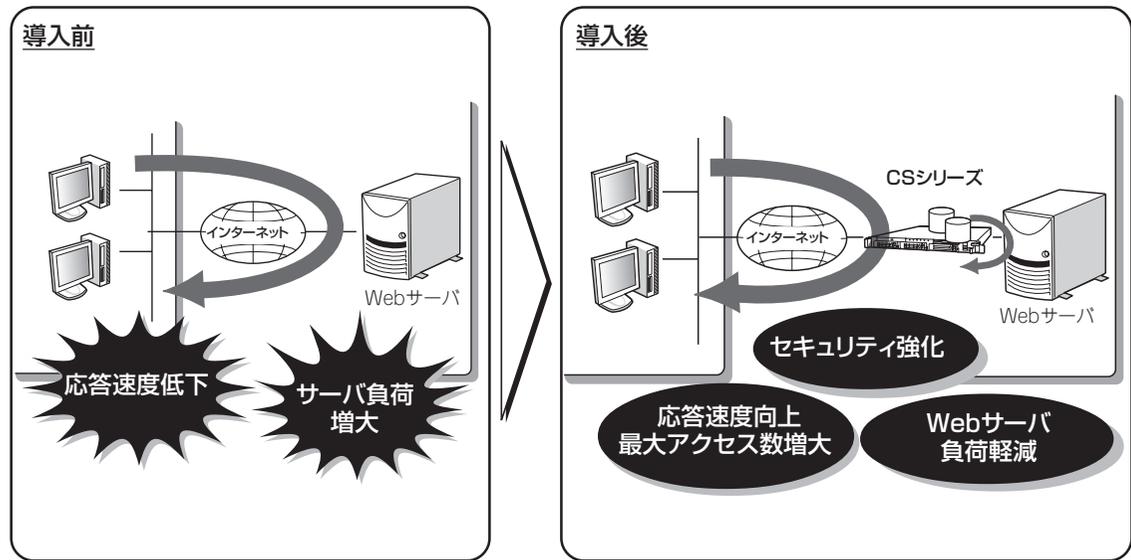
  インターネット経由で受け渡しされるファイル(電子メール添付のファイルやWeb/FTPでダウンロードしたファイル)から各種ウィルスを検出/除去し、オフィスへのウィルス侵入、外部へのウィルス流出を防ぐことを目的とした装置です。

機能と特長

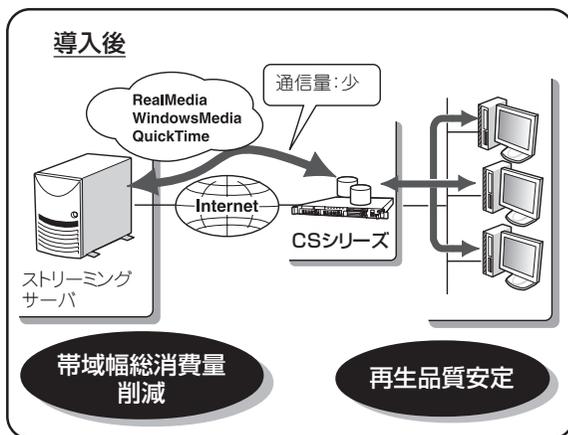
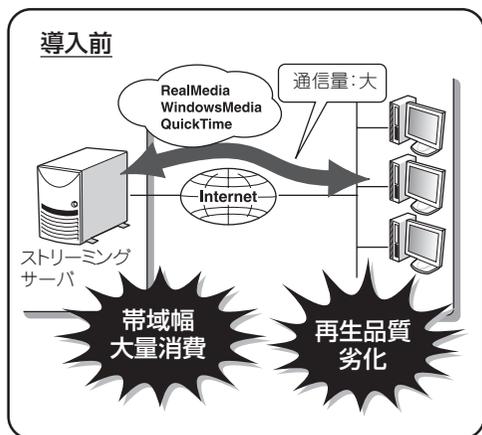
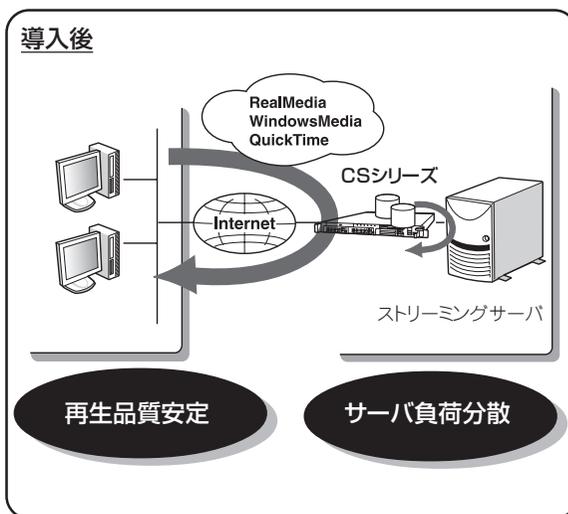
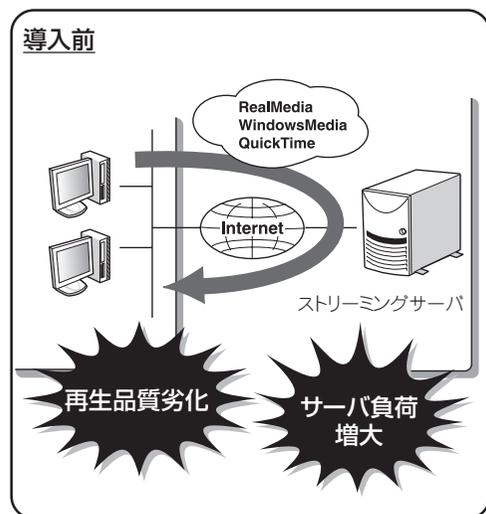
本装置は、社内から外部Webサーバへのアクセスをより効率化するForwardキャッシュと、WWWサーバの前段に設置し、WWWサーバの負荷軽減・コンテンツの保護を行うReverseキャッシュの機能を共にサポートします。運用管理ツール（Webブラウザベース）やレポート機能を標準で装備しTCO削減にも役立ちます。ストリーミングキャッシュ機能（オプション）をサポートしています。

Webコンテンツ
（HTMLファイルや
画像ファイル）

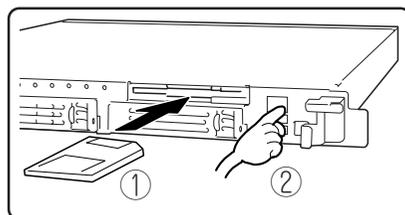
ネットワーククライアント

● Forwardキャッシュ機能

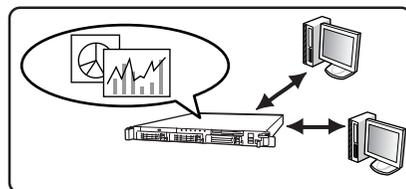
クライアント側にProxyサーバと新規/置換/併設して設置することにより、高性能キャッシュ機能を活かし、アクセスされたコンテンツを自動的に保存(キャッシュ)/再利用して、素早いレスポンスの提供と、回線コスト&トラフィックを軽減/削減します。

● Reverseキャッシュ機能

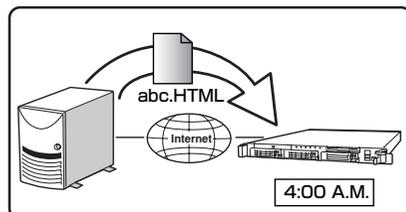
Webサーバ側の前段に設置しアクセス受付を代理させることで、高性能キャッシュ機能を活かし、コンテンツを自動でコピー保存(キャッシュ)し、複数台分のWebサーバと同じインターネットアクセス量を受け付けます。

- **ストリーミングキャッシュ機能**

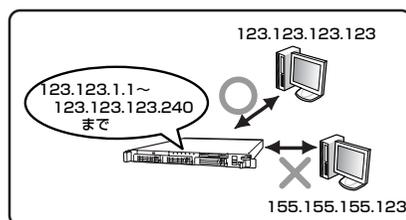
ストリーミングキャッシュ機能を持った、RealNetworks社（http://www.jp.realnetworks.com/）「Helix Universal Server」または「Helix Universal Gateway」をオプションでサポートします。

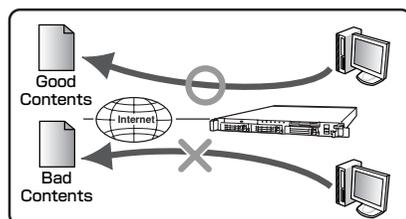
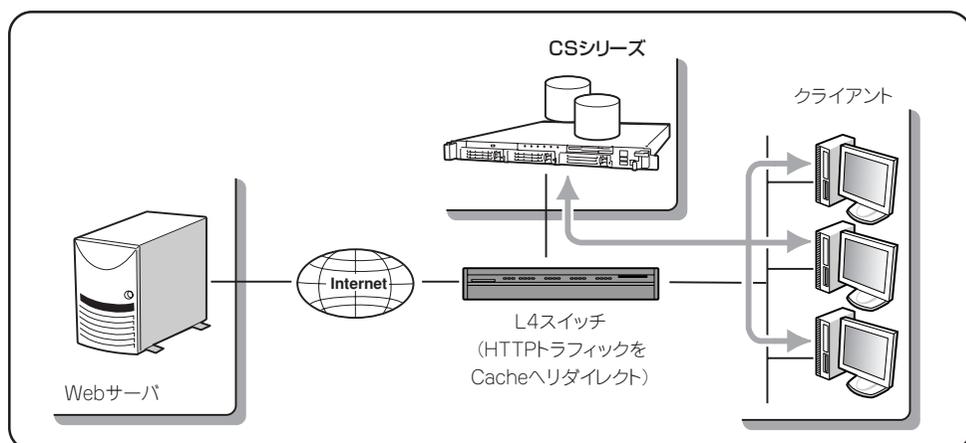
－　Forwardキャッシュ機能

－　Reverseキャッシュ機能

- **運用管理機能**

単純な導入であれば30分で可能（①設定ディスクをセットして、②電源をONにするだけ）。管理ツールもWebブラウザ経由でGUI化されています。

● **統計情報表示機能**

アクセスログを解析し、統計情報をグラフ･表形式で表示します。また、この統計情報を元にダウンロードスケジュール、アクセス制限の指定を行うことも可能です。

● **スケジュールダウンロード機能**

よく参照されるページをあらかじめ指定時刻にダウンロードし、キャッシュに格納しておくことが可能です。

● **IPフィルタリング機能**

プロキシ機能を利用するクライアントをIPアドレスで制限し、部外者の不正な利用を防ぎます。

● **URLフィルタリング機能**

フィルタ機能を利用すると、有害なWebなどへのアクセスを制限します。

また、L4スイッチを導入することにより、クライアントは、プロキシの設定をする必要がなくなります。

添付のディスクについて

本装置にはセットアップや保守・管理の際に使用するCD-ROMやフロッピーディスクが添付されています。ここでは、これらのディスクに格納されているソフトウェアやディスクの用途について説明します。

添付のフロッピーディスクやCD-ROMは、システムのセットアップが完了した後でも、システムの再セットアップやシステムの保守・管理の際に使用する場合があります。なくさないように大切に保存しておいてください。

- **バックアップCD-ROM**

  システムのバックアップとなるCD-ROMです。

  再セットアップの際は、このCD-ROMと添付の「バックアップ CD-ROM用インストールディスク」を使用してインストールします。詳細は3章を参照してください。

  バックアップCD-ROMには、システムのセットアップに必要なソフトウェアや各種モジュールの他にシステムの管理・監視をするための専用のアプリケーション「ESMPRO/ServerAgent」が格納されています。システムに備わったRAS機能を十分に発揮させるためにぜひお使いください。

- **保守・管理ツールCD-ROM**

  本体およびシステムの保守・管理の際に使用するCD-ROMです。

  このCD-ROMには次のようなソフトウェアが格納されています。

  - 保守・管理ツール

    再セットアップの際に装置の維持・管理を行うためのユーティリティを格納するためのパーティション（保守パーティション）を作成したり、システム診断やオフライン保守ユーティリティなどの保守ツールを起動したりするときに使用します。詳細は5章を参照してください。

  - MWA

    システムが立ち上がらないようなときに、リモート(LAN接続またはRS-232Cケーブルによるダイレクト接続)で管理PCから本装置を管理する時に使用するソフトウェアです。詳細は5章を参照してください。

  - ESMPRO/ServerManager

    ESMPRO/ServerAgentがインストールされたコンピュータを管理します。詳細は5章を参照してください。

- **初期導入設定用ディスク（フロッピーディスク）**

  初期導入時の設定情報を書き込みます。設定情報の作成や変更をする「初期導入設定ツール」も含まれています。

- **バックアップCD-ROM用インストールディスク（フロッピーディスク）**

  システムの再インストールの際に使用します。